



高崎 恭介

Q 三十四歳の男性。昨年四月、左の鼠径ヘルニアの手術(メッシュ・プラグ法)を受けました。術後四時間たってから内出血したために再手術を受け、八口ほど入りました。一週間後、再度内出血があり通院。鎮痛剤で改善すると三われましたが効果がありません。今も方仕事をすると、鼠径部が痛みます。痛みは治めるのでしょうか。

A 鼠径ヘルニアは、脚の付け根の腹壁の一部に穴があいて、腹腔と腸が飛び出してくる状態です。治療は、手術で腹壁と腸をおなかの中に戻して穴をふさぎます。現在、成人の鼠径ヘルニアではポリプロピレン製のメッシュ(網目状)のシートでふさぐ手術が主流です。メッシュ・プラグ法もその一つで、円錐形のメッシュで穴をふさぎます。ご質問の方のように、鼠径ヘルニアの手術後、鼠径部に痛みがある状態を術後神経痛と言います。術後一年たっても痛みがある場合、その可能性が高いと思われる。術後神経痛の要因としては、次の二つが知られています。一つは、鼠径部の二本の神経のどれかが何かの原因で圧迫を受け、痛みがでる場合です。初回の手術時に神経を認めておけば、メッシュのシートを固定する際に神経を巻き込んだことなどが考えられます。丁寧な手術が唯一の予防法です。もう一つ、メッシュ・プラグ法では術後約一年でメッシュが右のように硬くなる場合があります。メッシュの穴への挿入が不完全ならば、硬くなったメッシュが鼠径部に違和感や異物感をもちだし、それが痛みにつながる可能性もあります。術後神経痛の治療は、とても難しいと言えます。まず最初に、鎮痛剤の投与や、鼠径部の痛みの伝わる神経経路を遮断する神経ブロックという治療をします。それでも痛みが消えない場合、手術で鼠径部の神経を切断したり、不完全に挿入されたメッシュを取り除いたりします。私は、術後神経痛の手術を四例経験しています。このうちメッシュを除去した一例では、痛みが十分に消えませんでした。残念ですが、痛みがとれるかどうかは手術してみなければ分かりません。確立された有効な治療法がないのが現状かと思えます。(みやぎき外科・ヘルニアクリニック院長 札幌)

鼠径ヘルニアの術後の痛み まず鎮痛剤、再手術の必要も

術後神経痛と言います。術後一年たっても痛みがある場合、その可能性が高いと思われる。術後神経痛の要因としては、次の二つが知られています。一つは、鼠径部の二本の神経のどれかが何かの原因で圧迫を受け、痛みがでる場合です。初回の手術時に神経を認めておけば、メッシュのシートを固定する際に神経を巻き込んだことなどが考えられます。丁寧な手術が唯一の予防法です。もう一つ、メッシュ・プラグ法では術後約一年でメッシュが右のように硬くなる場合があります。メッシュの穴への挿入が不完全ならば、硬くなったメッシュが鼠径部に違和感や異物感をもちだし、それが痛みにつながる可能性もあります。術後神経痛の治療は、とても難しいと言えます。まず最初に、鎮痛剤の投与や、鼠径部の痛みの伝わる神経経路を遮断する神経ブロックという治療をします。それでも痛みが消えない場合、手術で鼠径部の神経を切断したり、不完全に挿入されたメッシュを取り除いたりします。私は、術後神経痛の手術を四例経験しています。このうちメッシュを除去した一例では、痛みが十分に消えませんでした。残念ですが、痛みがとれるかどうかは手術してみなければ分かりません。確立された有効な治療法がないのが現状かと思えます。(みやぎき外科・ヘルニアクリニック院長 札幌)